

平成29年10月1日

会員各位

協会だよりー298(10月号)

JCRA (Japan Catalyst Recovering Association)
触媒資源化協会

トピックス：

● **第234回月例会(一泊研修会)の開催**

開催月日：10月27日(金)～28日(土)

見学施設：

10/27 (株) DINS (バイオエタノール施設&金属リサイクル施設)
大阪府堺市西区築港新町

10/28 堺市役所21階展望ロビー、仁徳天皇陵古墳拝所、さかい利昌の杜、
堺伝統産業会館

宿 泊：牛滝温泉「いよやかの里」大阪府岸和田市大沢町 1156

備 考：古代より現代まで栄える堺市を探求する！



龍潭寺庭園 (小堀遠州作)・浜松市北区引佐町井伊谷

- 一. 協会よりのお知らせ
【実施済事項】
【予定事項】
- 二. 会員会社よりの連絡
- 三. 事務局より (十月度の予定)
- 四. 【雑学】直虎の里／奥浜名湖と井伊谷へ

1. 協会よりのお知らせ

【実施済事項】

- ① **協会だよりー297 (9月号)** をメール&郵便で送信 (9/1)
- ② **第233回月例会(見学会)の開催・スーパーエコタウンの見学 (バス利用)**
開催日：平成29年9月7日(木)9:30～15:15 (見学) 17:00～ (懇親)
バス出発場所：東京国際フォーラム前9:30 (出発) 道路向いのビルは新東京ビル

- 見学先：1. 中間貯蔵・環境安全事業(株) (中央防波堤内側) 10:30～
昼食：「テレコムセンタービル内」21F 展望レストランで 12:00～
2. (株)リーテム (城南島地区) 13:10～
3. 処分場見学 (中防合同庁舎 10 階回廊より) 14:45～
懇親会：新橋亭新橋新館にて 17:00～19:00
参加者：見学 (32名)・懇親 (32名)。



③ 第三回運営委員会

- 日 時：平成29年9月21日 (木) 15:30～17:00
場 所：新橋駅前ビル1号館6階 (BISTATION カンファレンスルーム B にて)
議 題：234 回月例会 (一泊研修会) の準備・その他
出 席：石福金属興業(株)、クラリアント触媒(株)、堺化学工業(株)、日揮触媒化成(株)・・・
運営委員。エヌ・イーケムキャット(株)、川研ファインケミカル(株)、
キンキメタル産業(株)・・・第234回月例会の幹事会社、専務理事

[予定事項]

① 第234回月例会(一泊研修会)の開催

- 開催月日：10月27日(金)～28日(土)
見学施設：大阪府堺市西区築港新町 (株)DINS (バイオエタノール施設、他)
宿 泊：牛滝温泉「いよやかの里」大阪府岸和田市大沢町 1156
備 考：古代より現代まで栄える堺市を探求する！

② 第四回運営委員会 (11月です)

日 時：平成29年11月16日 (木) 16:00~17:00
 場 所：堺化学工業(株)東京支店会議室 (友泉岩本町ビル2F)
 議 題：235回月例会 (講演会・新年会) の準備・その他
 出 席：運営委員及び第235回月例会の幹事会社、専務理事

③ 第235回月例会(講演会・新年会)の開催 (平成30年2月です)

開催月日：平成30年2月8日(木)14:30~
 開催会場：如水会館(神田一ツ橋)
 講演題目：1. 堺化学工業(株)様より
 2. 策定中
 新年会：同会館にて

2. 会員会社よりの連絡

- 富陽金属株式会社殿 (9月吉日)
 (現) 代表取締役 増田康次様が会長にご就任され、(新)代表取締役 に増田耕一様が就任されました。

4. 事務局より (10月度の予定) 10月出勤予定：11日間、赤・個人予定あり。

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
×	○	×	×	○	10/6~10/7 ワングル部OB会 (盛岡)	
8	9	10	11	12	13	14
×	体育の日	CMAJ/JCRA 幹部交流会	×	○	×	×
		(自由民権)	(料理教室)			(自由民権)
15	16	17	18	19	20	21
×	×	○		○	×	×
22	23	24	25	26	27	28
×	×	○	×	○	第234回月例会 (一泊研修会・堺市)	
		(料理教室)				
29	30	31	11/1	11/2	11/3	11/4
×	○	×	×	○	文化の日 ×	×
		(CMGC)				

【雑学】直虎の里／奥浜名湖と井伊谷^{いいのや}へ

皆さん、NHK大河ドラマ「女城主直虎」を見ていますか。私はあまり、このドラマを見ていないのと、井伊さんと言えば幕末に、桜田門外の変で水戸浪士の一隊に暗殺された大老・井伊直弼しか浮かばず、今回の歴歩会バスの旅では事前勉強が不十分で少々不安がありました。遠江の国、浜名湖の北部・井伊谷(いいのや)(現・浜松市北区引佐町井伊谷)に拠点を置き、南北朝期、戦国時代を生き延び、徳川の四天王と言われるほど出世し、近江の彦根に藩を構えた井伊氏の祖先の地を訪問する旅です。

歴歩会のパンフには次のように紹介されています。「井伊家は平安中期の共保(ともやす)を祖とする古い家柄。南北朝期には後醍醐天皇の重臣で、宗良親王を擁して活躍。しかし北朝方の足利一族である今川氏に敗れ、その支配下に入ったのでした。先ず訪れるのが奥山半僧坊・方広寺。その開祖も後醍醐天皇の皇子無文元選(むもんげんせん)で、開基は井伊氏同族の奥山氏。なお初夏に訪れた鎌倉・建長寺の半僧坊の本山がこの寺で、天狗伝説も残ります。昼食には寺の名物「精進うな重」を。次に1981年に発見された鍾乳洞、竜ヶ岩洞(りゅうがしどう)を探検、洞内気温18℃の涼しさを満喫しましょう。そして井伊谷へ。ドラマでお馴染みの龍潭寺をはじめ、井伊谷宮、涪伊神社など、井伊氏ゆかりの地を巡りましよう・・・」訪問したルートは

町田発～横浜町田 IC(東名・新東名)⇒浜松いなさ IC～奥山半僧坊・方広寺(拝観・昼食)～竜ヶ岩洞(鍾乳洞探検)～地域遺産センター(見学)～涪伊神社～井伊谷宮～龍潭寺(拝観・庭園鑑賞)～共保公出世井戸～浜松いなさ IC(新東名・東名)⇒横浜町田 IC～町田着

《方広寺》静岡県浜松市北区引佐町奥山 1577-1

方広寺は臨済宗方広寺派の大本山です。臨済宗には14もの大本山(分かれ)があり、調べてみると次のごとくで有りました。東より、建長寺派 大本山建長寺(鎌倉市)、円覚寺派 大本山円覚寺(鎌倉市)、向嶽寺派 大本山向嶽寺(山梨県甲州市)、宗方広寺派 大本山方広寺(静岡県浜松市引佐町)、國泰寺派 大本山國泰寺(富山県高岡市)、永源寺派 大本山永源寺(滋賀県東近江市)、妙心寺派 大本山妙心寺(京都市右京区)、南禅寺派 大本山南禅寺(京都市左京区)、東福寺派 大本



山東福寺（京都市東山区）、相国寺派 大本山相国寺（京都市上京区）、建仁寺派 大本山建仁寺（京都市東山区）、天龍寺派 大本山天龍寺（京都市右京区）、大徳寺派 大本山大徳寺（京都市北区）、佛通寺派 大本山佛通寺（広島県三原市）と分かれています。なんと臨済宗は大本山の多いことか！

前日は大雨、本日も雨の予報でしたが、訪ねた浜松は快晴で真夏のようにになりました。私たちは方広寺の三重塔を目前にした高台の駐車場に着きました。眼下には広大な方広寺の寺域が展望されます。さてこの坂道を下って方広寺に向かいます。方広寺は井伊直親（いいなおちか）の正妻・奥山氏ゆかりの寺です。初夏に訪れた鎌倉建長寺で出会った半僧坊の烏天狗像は、ここ奥山方広寺の半僧坊が本家でありました。方広寺の本堂はものすごく広く開放的で、回廊に立っていると、緑の景色とそよ風が心地よく寝転んでしまいたい位の場所でありました。この本堂は明治38年から大正7年にかけて竣工されたもので、間口32m奥行27の東海屈指の建物とされています。



さて、お昼も近づき、方広寺名物「精進うな重」を御馳走になります。お坊さんの作るうな重ですから、もちろん魚ではありません。「鰻もどき」ですが、どんな植物材料で作るのでしょうか？まずは写真を紹介いたします。お味はタレを使っているのだからうな重に近いものでした。お坊さんと一緒に食べる前に食事五観の唱和をします。ご馳走さまでした。



食事五観

一、一つには功の多少を計り、彼の未徳を憂る
一の念等、自らの功徳を憂はるは、衆生切なり。功の多少を計り、彼の未徳を憂る。功徳を憂はるは、衆生切なり。

二、二つには己が徳行の全欠をばかて供に念す
二の念等、自らの徳行の全欠をばかて供に念す。自らの徳行の全欠をばかて供に念す。自らの徳行の全欠をばかて供に念す。

三、三つには心を防ぎ、過貪等を離るるを宗とす
三の念等、心を防ぎ、過貪等を離るるを宗とす。心を防ぎ、過貪等を離るるを宗とす。心を防ぎ、過貪等を離るるを宗とす。

四、四つには正に良業を事とするは、
四の念等、正に良業を事とするは、形枯を厭せんが為なり。正に良業を事とするは、形枯を厭せんが為なり。

五、五つには進業を成ぜんがために
五の念等、進業を成ぜんがために、当にの食を受くべし。進業を成ぜんがために、当にの食を受くべし。

当にの食を受くべし

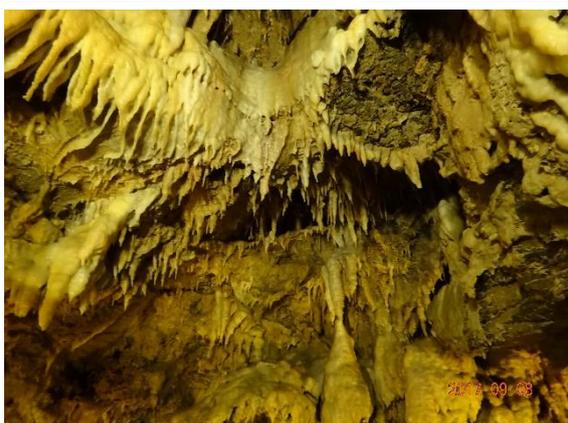
食事の後は、井伊谷の龍潭寺に向かう途中にある、外部気温は30℃を越すけれど洞内気温は18℃という鍾乳洞（竜ヶ岩洞）に向かいます。

《竜ヶ岩洞》静岡県浜松市北区引佐町田畑193

竜ヶ石山（りゅうがしやま・359m）の南麓、2億5千年前の地層と言われる秩父古生層の石灰岩地帯にあって、総延長約1,000mと言われている竜ヶ岩洞は、1983年に一般公開された比較的新しい鍾乳洞です。

入場料は方広寺と竜ヶ岩洞の共通セット券では¥1,000となっています。洞内は1000mと言われていますが、一方通行で入口と出口は別で所要時間は約40分とか。入場した途端、冷気が押し寄せます。真夏の避暑に体を冷やすには持って来いの場所でしょうか。

それでは何点か鍾乳洞内の写真を紹介します。



人工のトンネルと異なり、天然のトンネルですから真っ平らな場所はほとんどなく、上り下り、さらには鉄製の梯子や、階段を上下しながらの探検気分です。出口の直前には売店があり、竜ヶ岩洞の最深部に湧出すると言われるミネラルウォーター「天恵の泉」を購入、しばし天然の弱アルカリイオン水を味わいました。うん美味しい！

鍾乳洞を堪能して、本日のメインストリート・井伊谷へ向かいます。

《浜松市地域遺産センター》浜松市北区引佐町井伊谷 616-5

ボランティアのガイドさんを2人予約済みとか、まずはセンターの二階展示室で、簡単にプロジェクション・ジオラマ「井伊谷戦国絵巻」を見た後、フィールドワークとなりました。向かうのはセンターから2kmほど歩いた先にある涪伊神社です。井伊谷の街中を実感するには歩くのも良い企画と思いますが、アスファルト舗装の照りかえしもあり、何しろ今日は暑いのでへとへと、涪伊神社の傍までバスで行きたかったのが本音です。

《涪伊神社》浜松市北区引佐町井伊谷 1150

涪伊神社の手前は神宮寺という地番表示でモダンな新しい家が多いのでガイドさんに伺うと、引佐のニュータウンで若い方が多いとのこと。ガイドさんも、新鮮なミカンやお

茶、野菜に恵まれたこの地の気候風土に惚れて東京都練馬区より移住した方とか。皆さんも移住どうですかなど井伊谷はガイドさんご推奨の土地でした。

渭伊神社は境内 2535 坪 (約 8300 m²) ある大木に囲まれた静かな神社です。本殿の背後にある薬師山の頂上には天白磐座遺跡 (てんぱくいわくらいせき) があります。約 40m 四方に渡って散在する巨岩群を神の依代[磐座]とした古代祭祀遺跡です。



渭伊神社に別れを告げ、結構川幅が広く、河川敷には神宮寺川緑地もある神宮寺川沿いに歩き神宮寺橋を渡ると、すぐ右手に井伊谷宮が有ります。

《井伊谷宮》浜松市北区引佐町井伊谷 1991-1 ご祭神は後醍醐天皇の第四皇子である宗良親王です。今より約 650 余年、宗良親王は動乱の南北朝時代に一品中務卿 (いっぽんなかつ



かさきょう) 征東將軍として、この地を本拠に 50 余年の間、吉野朝方のために活躍し、その間、遠江・駿河・三河・甲斐・信濃・越後・上野・美濃等を転戦し、信濃宮・上野宮・越中宮と尊称され再びこの地を訪ねられ元中二年八月十日御年七十三歳にて薨去されました。御墓は本殿背後に西に向かってたてられています (井伊谷宮ホームページ参照)。

《龍潭寺》浜松市北区引佐町井伊谷 1989

龍潭寺は天平 5 年 (733)、行基上人の開山と伝えられる古刹です。寛治 7 年 (1093) 井伊家の祖井伊共保 (いゐともやす) がこの地で没して以来井伊家の菩提寺となりました。直虎が出家したお寺でもあります。本堂裏の庭園は、江戸時代の初期小堀遠州



によって築庭されたものです。



【小堀遠州】1579－1647 江戸時代前期の大名、茶人。

天正(てんしょう)7年生まれ。元和(げんな)5年備中(びっちゅう)(岡山県)松山藩主から近江(おうみ)(滋賀県)小室藩主小堀家初代となる。1万2000石。幕府の作事奉行として、駿府(すんぶ)城、仙洞(せんとう)御所などを造営、各地で庭園もつくる。9年伏見奉行。古田織部にまなんで遠州流茶道の祖となり、将軍や大名に茶道を指南した。正保(しょうほ)4年2月6日死去。69歳。近江出身。名は政一(まさかず)。号は宗甫(そうほ)、孤篷庵。(デジタル版 日本人名大辞典+Plus の解説による)

大河ドラマ「女城主 直虎」の地のためか、ウィークデーの金曜日ですが、龍潭寺の境内は人人で溢れかえっています。もちろん龍潭寺の観光バスの駐車場も10台近くのバスでいっぱいです。大河ドラマの影響はものすごいですね！

龍潭寺山門を出て、井伊共保公出生の井戸へ向かいます。町田は大雨とか、引佐でも、この時上空には黒雲が近づき、雷鳴が轟いています。にわかにも雨がぱらぱらと落ちて、雷も怖いので見学も急ぎ足です。



今回の日帰りバス旅行は48名の参加とか、ほぼ満席の状態でした。新東名高速道路が出来たおかげで駆け足の旅ですが、浜松いなさICから奥浜名湖地区に行けるため便利な所です。しかし奥三河にも足を延ばし五山見学となれば一泊する必要があるようです。新東名高速と東名高速は御殿場で合流して東は東名高速一本です。神奈川県まで新東名が延長されれば(いつの事か?)東海道方面の旅も楽になりますね。

【文責：専務理事】